

第17回全日本ジュニアテコンドー選手権大会 注意事項等のお知らせ

7月27日・28日に開催する標記大会について、注意事項等をお知らせいたします。

【大会参加同意書の提出について】

下記【インスペクションにおけるマウスガードについて】記載のとおり、今大会では、キョルギ選手のみを対象として、添付の「大会参加同意書」を提出いただくことになりました。

ご署名（選手と保護者）の上、大会1日目の計量時に忘れずにお持ちください。選手IDカード配布時に提出していただきます。

「大会参加同意書」を提出いただかないと、出場できませんので必ずご持参ください。

【インスペクションにおけるマウスガードについて】

1、マウスガードに関する規則は、競技時の選手の重篤な外傷リスクを軽減し、選手の安全を確保する観点から定められているものですが、東西地区大会では、選手の安全が確保されているとは言いがたいマウスガードが複数ありました。

大会終了後に、「厚さ」等について複数のお問合せがありましたが、「厚さ」さえ規則にあっていればよいものではありません。

医科学委員会等で改めて検討した結果、全日本ジュニア選手権において、よほどの不備でない限りは基本的にはマウスガードの規定を満たさないことを理由に「失格にはしない」という方針となりました。（全日本選手権（シニア）と代表選考会では、国際試合と同様に、審判委員会と医科学委員会が協働して厳格なチェックを行う方針ですが）それ以外の国内大会では、インスペクションにおいて、規則に合致しないことは指摘するが、基本失格とはしないという方針です。

ただし、マウスガードについての規則は、上記のとおり、選手の安全を確保するためのものであるため、仮に失格にされなかった選手が出場した結果、顔面や頭部に外傷を負ったような場合、あくまでも自己の責任と判断で出場したものであるということをご理解いただく必要がございます。

そのため、今大会のみ、参加選手等から別途「大会参加同意書」をいただく方向となりました。

また、今後は大会要項にその旨を記載し同意した上でエントリーしていただく方針です。

2、マウスガードが規則に合致しているか否かは、厚さだけではなく、実際に選手の口に入れた状態で保護ができる状態か否かや、マウスガードが衝撃に耐えうる硬さがあるかどうかで判断されます。

そのため、インスペクション時にマウスガードについて問題を指摘された際には、できたらその場で、セコンドの方が（あるいは成人であれば選手自身も）、問題点を指摘したドクターの方によく話を聞き、質問をするなどして疑問を解消していただくよう、ご協力をお願いいたします。

【大会当日の注意事項】

1、 大会1日目(27日 土曜日)

サイデン科学アリーナさいたま **2階入口**から入場する

- ・ プムセ選手 10時開場 (メインアリーナ入口にて受付) 13時開会式予定

「メインアリーナ」にて試合実施

※試合順及び試合種目に関しては、26日(金曜日)までに

AJTA ホームページに公開いたします

- ・ キョルギ選手 15時集合

「サブアリーナ」にて計量 15:00~17:00

選手IDカード、各コート試合番号1~5の選手に試合移動時刻用紙 配布

※トーナメントの発表は計量時に行い、AJTA ホームページに公開いたします

2、 大会2日目(28日 日曜日)

(1) **8時30分** に**2階入口**から入場する

- ・ キョルギ選手 8時50分 「メインアリーナ観覧席」に待機

※試合番号 各コート1~7番目迄の選手のみアップ開始

9時00分 開会式 ※開会式終了後8番目以降の選手アップ開始

9時30分頃 試合開始

- ・ コーチ **コーチミーティングはありません。**

コーチリストバンド配布はインスペクション前の選手確認時に実施します。

選手と入場し、リストバンドを必ず受け取って、手首に装着してください。

(2) アップエリアでは試合番号での呼び出しを基本と致します。(選手名を呼びません)

選手とコーチはトーナメント記載の試合番号を各自で把握し、コート・試合番号を呼ばれたら、速やかに選手用の試合番号カードとコーチ用の試合番号ストラップを受け取り、試合会場へ移動してください。

《試合前後の手順》

- ① ファールカップなど装具は試合会場へ移動する前に装着しておく。
- ② アップエリアにて選手用の試合番号カード、コーチ用の試合番号ストラップを受け取る。
- ③ 5つ前の試合が開始されたら、試合番号カードを首にかけ、試合会場(アリーナ)に向かう。
(マウスガード、飲料・タオル等を忘れずに持参)
- ④ 受け付けにて試合番号を見せる。コーチはコーチストラップとリストバンドを見せる。
(初回のみ、ここでコーチリストバンドを受け取り装着する)
- ⑤ 審判員のインスペクションを受け、試合待機する。試合番号カードをスタッフに渡す。
- ⑥ 各コート横にて試合直前の待機時、ボディプロテクターを受け取り装着する。

ボディプロテクターの結び目確認をインスペクション審判が実施する。

- ⑦ 続いて、ヘッドプロテクターサイズを選び持つておく。
- ⑧ 前の試合が終了したらオペレータ前に進み、トランスミッターを装着してもらう。
- ⑨ 試合開始。
- ⑩ 試合終了後オペレータ前にてトランスミッターを外してもらう。
- ⑪ コート横でヘッドプロテクター、ボディプロテクター、コーチ用試合番号ストラップを返却する。
- ⑫ 退場口より退場する。

(3) 試合番号カードおよび試合番号ストラップを首から下げていない選手・コーチは 1F のメインエリアから速やかに退場してください。また再入場もできません。

(4) **第1試合から第7試合の選手は速やかにアップを実施し、9時10分頃から順次試合会場へ移動し試合準備を行います → 試合開始 9時30分**

【会場における注意事項】

- 1、他団体、トレーニング施設の一般使用がありますので、通行には十分注意をしてください。
- 2、忘れ物なきよう、持参品・貴重品の管理を徹底いただきますようお願いいたします。
- 3、2F 観覧席にて食事をとっていただきますようお願いいたします。
- 4、**会場は、土足禁止ですので、スリッパまたは内履きを持参し、外履きを袋などに入れ必ずお手元にお持ちください。（1階下駄箱の使用はできません）**
- 5、**ポケットWiFi・テザリングは試合装置に影響があるため禁止です。**
- 6、ごみは各自で必ず持ち帰るようお願いいたします。

【駐車場について】

サイデン科学アリーナ駐車場のご利用は禁止とさせていただきます。ご注意下さい。

会場裏側（秋ヶ瀬公園）に大会用に専用駐車場を借りております（120台ほど）。

他、近隣駐車場の利用をお願いいたします。

【ミズノスポーツ財団からの助成金贈呈式について】

午後の試合開始前（13時頃）にミズノスポーツ財団からの助成金贈呈式を予定しており、贈呈式後に助成対象となるジュニア強化指定選手との代表ジャージ着用での記念写真撮影を予定しております。

競技進行を見ながら、当日、2024年度ジュニア強化指定選手数名にお声掛けさせていただきますので、選手及びご所属関係者の皆さまには、ご協力いただきたくお願い申し上げます。代表ジャージは、協会の控えを用意いたします。

以上

大会参加同意書

一般社団法人全日本テコンドー協会
会長 川原 貴 殿

私は一般社団法人全日本テコンドー協会 大会ルールおよびガイドラインを遵守し、大会期間中は競技会主催者の指示に従います。

インスペクションにおける確認事項は参加者本人を含む競技者の安全な競技実施に必要な項目であることを理解しました。また、参加にあたりインスペクションチェックリストを事前に全項目を確認し、これを遵守して参加します。

持参したマウスガードが規定に満たないという指摘を受けた場合に、競技実施に関連する顎骨骨折や歯の折損などの他、脳震盪など重篤な傷害を生じるリスクやこれに伴う損失を含め、規定に満たないマウスガードを使用しての大会への参加は参加者本人（未成年の場合は保護者）の自己責任であることに同意します。一方でテーピングテープやブレースに関する規定については、指摘があれば直ちに修正、もしくは参加を辞退することに同意します。

上記項目を確認の上、本大会に参加いたします。

令和 年 月 日

都道府県協会と所属団体名

選手 氏名（自署）

保護者 氏名（自署）

※未成年者の場合は必ず保護者の方がご記入ください。

競技中マウスガードについて：AJTA 医科学委員会

マウスガードの装着についての原則

テコンドー競技中のアスリートを重篤な外傷リスクから保護し、ケガの予防を目的としている。また、選手自身のパフォーマンスや試合結果に影響を及ぼさないものとした WT (World Taekwondo) の規定をもとに以下のように規定する。

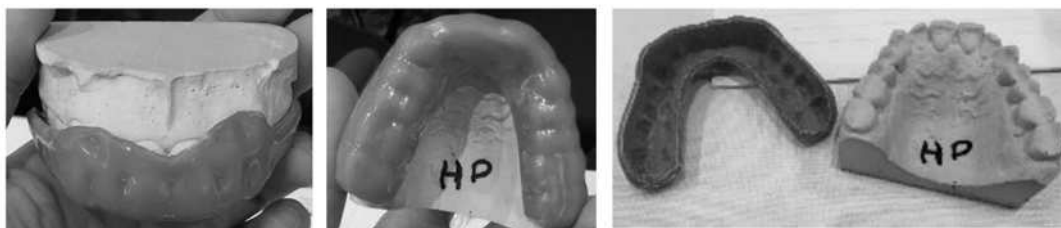
● マウスガード

- ・色：「白」か「透明」のいずれかのみ
- ・マウスガードは競技中は常に装着し、義務とする。例外は認めない。
- ・少なくとも 3mm の厚みがなければならない。
- ・硬さは「硬いもの」もしくは「完全には硬くないものは、たわまないもの」でなければならない。
- ・歯科医師によって作製されたものでなければ、選手の安全を保証するものではない。
- ・選手は歯ぎしり防止用で作られたモノ（ナイトガードや歯列矯正スプリントと称される）の使用は不適切である。これらはスポーツによる傷害の防止が目的ではないからである。
- ・本マウスガード規程を遵守しない選手は AJTA 主催大会への参加は不適切と判断され、装着義務が果たせていないとして、競技参加資格がない、あるいは代表選手として不適格と判定されることがある。

・矯正をしていない選手：

マウスガードは上顎のすべての歯の全体が覆われているなければならない。

あるいは上顎下顎両方を覆うマウスガードを使用する。(以下の写真を参照)



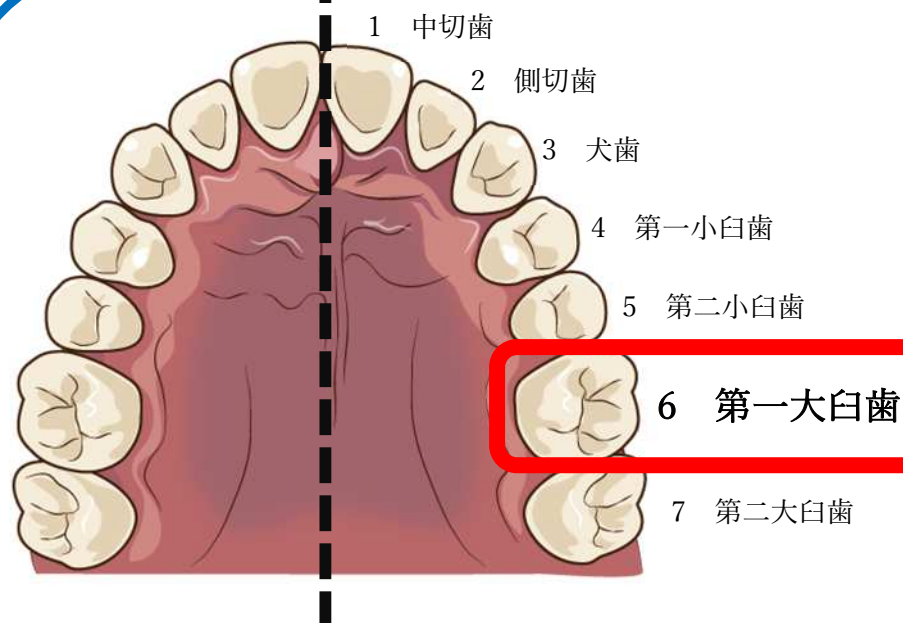
不適切なマウスガードの実例：

マウスガードは上顎のすべての歯（すくなくとも第一大臼歯までの全体）を覆わなければならない。また少なくとも 3mm の厚みがなければならない。



写真 左から

- 1 枚目：夜間用のマウスピースで、歯の基部が露出しており、歯ぎしり防止用と思われる。
- 2 枚目：各歯の一部しか覆えておらず、少なくとも 3mm の厚さがない。
- 3 枚目：夜間用のマウスピースで各歯の一部しか覆えていない
- 4 枚目：上顎の歯すべてを覆っていない。



マウスピースで、少なくとも第一大臼歯までが完全に覆われている、もしくは上顎の全ての歯が覆われている必要がある。

・矯正中の選手：

○矯正中の選手は競技参加前にかかりつけ歯科医に相談しなければならない。

下記の(1)－(3)にあたるいずれかで具合のいいタイプのマウスガードを使用すべきである。

(1) 矯正用の上下顎マウスガード（上および下の歯と矯正用具を覆うもの）

これらのものが最適な防具となる→強く推奨する

(2) 矯正用上顎の全部をカバーするマウスガード（第2大臼歯まで覆うもの）と部分用下顎のマウスガード（→安全ではある）

選手は呼吸問題がある場合、(2)を使用して良い

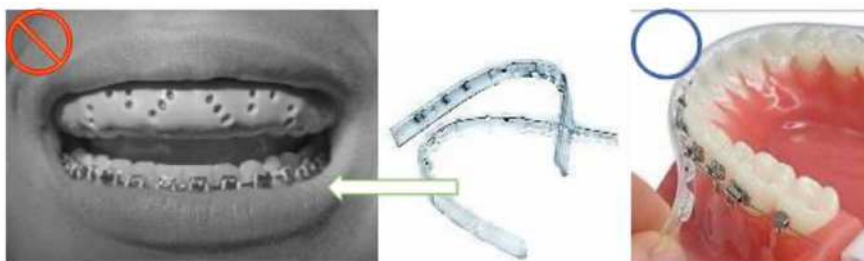


左：上顎は全床のマウスガードで下顎は部分床のマウスガード

右：部分床マウスガードを装着している例

(3) 上顎の歯と矯正を全部覆う マウスガード と 下顎の矯正チューブ/矯正シールド。

これは一時的に矯正器具を覆うものであり、相手を傷つけないものである。しかしながら、これは矯正をしている選手自身の安全性の面では最少限を満たすものである。



上記写真左：上顎はしっかりと覆われているが下顎の矯正がおおわれていない。

安全のために下顎の矯正器具がすべておおわれていなければならない。

付記：マウスガード本体への名前入れについては、形状に影響を与えず、また装着して競技中には見えない場所に記載されているのは、国内大会においては差し支えない。

文責：医科学委員 木村豪志（医師・歯科医師）